

(様式第1号)

平成29年8月3日

認定介護福祉士認証・認定機構  
理事長 様

領域名：福祉用具と住環境に関する領域  
科目名：福祉用具と住環境  
単位数：2単位  
認証申請する研修の名称：加齢体力論

団体名：日本福祉大学  
団体事務所の所在地：〒475-0012  
愛知県半田市東生見町26-2  
電話：0569-20-0131  
FAX：0569-20-0119  
E-mail：handa@ml.n-fukushi.ac.jp

下記書類を添えて上記科目に対する研修の認証を申請します。

団体代表者：日本福祉大学  
学長 児玉 善郎  
申請責任者：日本福祉大学  
健康科学部長 久世 淳子



記

○認定介護福祉士研修認証申請書（別紙1～3）

<機構使用欄>

受付	
確認	
委員付託	
追加連絡	
評価報告	
理事会承認	
認証番号	

(別紙1) 認定介護福祉士研修認証

※申請受付番号

(※は記入しないでください)

### 認定介護福祉士研修認証申請書

申請年月日	平成 29 年 7 月 27 日
申請団体名	日本福祉大学
申請団体代表者氏名	学長 児玉 善郎
申請責任者職名	健康科学部長
申請責任者氏名	久世 淳子
団体住所	〒475-0012 愛知県半田市東生見町 26-2
同 Tel・Fax	Tel : 0569-20-0131
メールアドレス	Fax : 0569-20-0119 E-mail handa@ml.n-fukushi.ac.jp
申請対象の領域	領域名 : 福祉用具と住環境に関する領域
科目名 (単位数)	科目名 : 福祉用具と住環境 (2 単位)
申請する研修名	加齢体力論
研修認証実績	年 認証番号 ( )
	年 認証番号 ( )
	年 認証番号 ( )
その他特記事項	

(別紙2) 認定介護福祉士研修認証

認証申請科目に対する研修の内容

申請対象の領域	福祉用具と住環境に関する領域	
科目名	福祉用具と住環境	
(1) 提供する研修について		
研修名	加齢体力論	
研修目標	環境調整による利用者の生活支援ができる介護福祉士になるために、まず福祉用具や住環境に関する基礎知識を修得し、利用者の心身機能や環境面の評価から、福祉用具の活用や住環境整備により、日常生活活動(ADL)や生活の質(QOL)の向上につながる支援を提案できる力を修得する。	
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉用具に関する基礎的な知識を習得し、支援に活用できる。</li> <li>・介護場面に応じて、福祉用具等を選択し、それらを活用した支援技術を習得し、実践できる。</li> <li>・住環境に関する基本的な知識を習得し、支援に活用できる。在宅や施設を問わず、利用者の生活の場となる住環境を評価し、介護場面に応じて改善を提案することができる。</li> </ul>	
研修内容(研修プログラム)	含むべき内容	研修プログラム
	<ul style="list-style-type: none"> <li>○介護場面(移動・移乗、睡眠、起居、排せつ、入浴、食事、コミュニケーション等)に応じた適切な福祉用具の選定や住環境の整備</li> <li>○福祉用具・生活支援機器・義肢装具・自助具などの種類と機能</li> <li>○利用者の障害の程度による機器の選定方法と、福祉用具を活用する際のリスクの理解</li> <li>○利用者の住環境の評価</li> <li>○利用者が自立生活を送るための障害に応じた住環境の課題と対策</li> </ul>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 起居関連用具(ベッド、周辺環境)</li> <li>2. 褥瘡予防関連用具(マットレス、エアマット、ポジショニング)</li> <li>3. 移乗関連用具(スライディングボード、移乗用リフト)</li> <li>4. 移動関連用具(杖、シルバーカー、義肢・装具)</li> <li>5. 移動関連用具(車椅子、福祉車両)</li> <li>6. 演習(スライディングボード、移乗用リフト、ポジショニング、シーティング)</li> <li>7. 入浴関連用具</li> <li>8. 排泄関連用具</li> <li>9. 食事関連用具(自助具)</li> <li>10. 更衣と整容の関連用具</li> <li>11. コミュニケーション関連用具</li> <li>12. 住環境整備(住宅改修、住宅設備機器)</li> <li>13. 福祉用具の供給とメンテナンス、リスクマネジメント</li> <li>14. 福祉用具演習(1)</li> <li>15. 福祉用具演習(2)</li> </ol> <p>※福祉用具演習は、名古屋市福</p>

		社用具プラザで福祉用具ならびに介護ロボットの見学、使用体験を行う。
研修方法	<input checked="" type="checkbox"/> 通学課程（集合研修） <input type="checkbox"/> 通信課程（通信研修） ----- 講義と演習によって展開する。	
研修時間	30 時間	
修了要件	2/3（20 時間）以上の出席後、修了評価基準を満たした者	
講師要件（講師の選定基準）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当該科目における知識・専門性を有する</li> <li>・講師等の教育経験がある</li> <li>・日常業務で介護職員とともに働いた経験があり、福祉用具・福祉住環境の知見がある（リハビリテーション専門職（PT、OT、ST）、リハビリテーション工学技師、義肢装具士、福祉住環境コーディネーター1級以上等）</li> </ul>	
(2) 受講者について		
受講対象（受講要件）	日本福祉大学健康科学部リハビリテーション学科 介護学専攻3年生	
修了評価（習得度、研修成果）	筆記試験（50 問程度、100 点満点中 60 点以上が合格）	
(3) 研修の環境条件		
定員（講師の配置基準）	40 名	
開催場所（都道府県）	日本福祉大学（愛知県）	

(別紙3) 認定介護福祉士研修認証

認証申請する研修の実施体制等 (届出事項)

(1) 研修の実施予定	
実施日	2020年4月～
開催場所(会場)	日本福祉大学
(2) 講師	
担当、氏名及び略歴	①宮田 美和子
	平成13年3月 金沢大学医学部保健学科卒業
	平成23年3月 名古屋市立大学大学院医学研究科神経内科学 博士課程修了
	平成9年4月～平成10年9月 新日本製鉄株式会社広畑製鉄所病院・作業療法士
	平成15年4月～平成16年3月 兵庫県但馬県民局但馬長寿の郷企画調整部地域ケア課
	平成16年6月～平成19年3月 日本医療福祉専門学校・教員
	平成19年4月～平成20年3月 名古屋市立大学病院・作業療法士
	平成20年4月～現在 日本福祉大学・准教授
	②武田 啓子
	平成17年3月 日本福祉大学通信教育部経済学部 卒業
	平成21年3月 中京大学情報科学研究科認知科学専攻 修士課程修了
	平成25年3月 聖隷クリストファー大学大学院看護学研究科 博士課程修了
	平成10年4月～平成21年3月 日本福祉大学高浜専門学校・専任教員
	平成18年10月～平成22年3月 愛知教育大学・非常勤講師
	平成20年4月～平成21年3月 日本福祉大学・非常勤講師
	平成21年4月～現在 日本福祉大学・教授
(3) 実施体制	
研修の企画運営の組織 (担当部局・人員)	健康科学部リハビリテーション学科介護学専攻

研修の企画運営に関する諸 規程	日本福祉大学学則 日本福祉大学健康科学部授業科目履修規程
研修管理責任者職名	健康科学部長
研修管理責任者氏名	久世 淳子
機構問合せ先部署	半田事務室
機構問合せ先担当者氏名	三輪 加奈子
機構問合せ先電話番号/FAX	0569-20-0131/0569-20-0119
機構問合せ先 e-mail アドレス	handa@ml.n-fukushi.ac.jp
受講問合せ先部署	半田事務室
受講問合せ先担当者氏名	三輪 加奈子
受講問合せ先電話番号/FAX	0569-20-0131/0569-20-119
受講問合せ先 e-mail アドレス	handa@ml.n-fukushi.ac.jp
(4) 研修履歴の管理体制	
受講者への付与単位部門	健康科学部
受講履歴の管理方法	履修システムによる管理
受講履歴の証明	単位取得証明書による証明
管理責任者氏名	健康科学部長 久世 淳子
管理担当者氏名	健康科学部事務長 石田 司